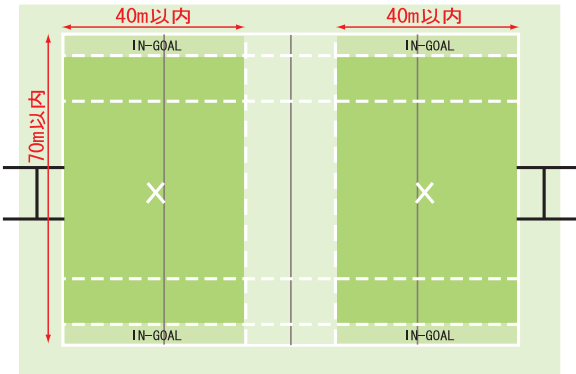


ミニラグビー競技規則 2006～2007 (赤字斜体)はローカル・ルール (青字)は本年度改訂部

2006/6/23改訂

プレーヤー、グラウンド、時間

		1・2年生 (U7ー8)			3・4年生 (U9ー10)			5・6年生 (U11ー12)		
1	プレーヤー	・プレーヤーは各学年別にグループ分けすることを原則とする。								
2	チーム	・5人	FW	1人	・7人	FW	3人	・9人	FW	3人
			HB	1人		HB	1人		HB	1人
			BK	3人		BK	3人		BK	5人
3	競技場	・40m以内×28m以内			・60m以内×35m以内			・70m以内×40m以内		
					・フルグラウンドのインゴールラインと10mラインと5mラインに囲まれた地域をフィールドオブプレーとする。 					
4	試合時間	・10分ハーフ以内			・15分ハーフ以内			・20分ハーフ以内		
					・12分-3分-12分			・15分-3分-15分		
5	使用ボール	・3号ボール			・3号または4号ボール			・4号ボール		
					・4号ボール					

競技方法

1. キックオフ 及びドロップアウト

		1・2年生 (U7-8)	3・4年生 (U9-10)	5・6年生 (U11-12)
1	キックオフ	・ハーフウェイライン中央でタップキックからのパス。 ・相手側はタップキックの行われる地点からゴールラインに平行して5m下がる。	・ハーフウェイライン中央でドロップキック。あるいはプレースキック(下に置いて蹴る)。	・ハーフウェイライン中央でドロップキック。
			・相手側はキックの行われる地点からゴールラインに平行して5m下がる。 ・キックオフは5mラインに達しなくてはならない。 ・キッカー側が蹴る方向を示した後、相手側がその方向に陣形を整えた後にキックを行う。 ・相手側の陣形が整う前や反対の方向にキックが行われ場合はキックのやり直しを命じる。	
2	得点後のキックオフ	・得点された側のチームがキックオフの方法で行う。	・得点した側のチームがハーフウェイライン中央、またはその後方よりドロップキックまたはプレースキック。	・得点した側のチームがハーフウェイライン中央、またはその後方よりドロップキック。
3	ドロップアウト	・ゴールライン中央から5mフィールドオブプレーに入った地点でタップキックからのパス。 ・相手側はタップキックの行われる地点からゴールラインに平行して5m下がる。	・10mライン上か後方でドロップキックかプレースキック(下に置いて蹴る)のどちらかで行う。	・15m(10m)ライン上か後方でドロップキックで行う。

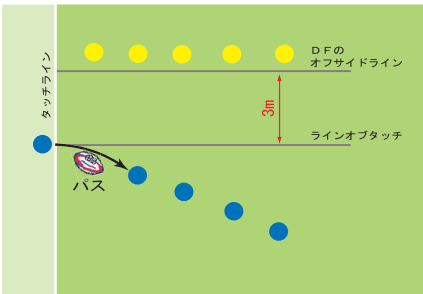
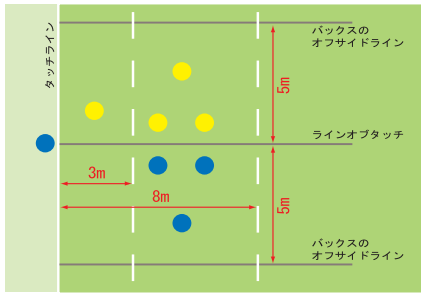
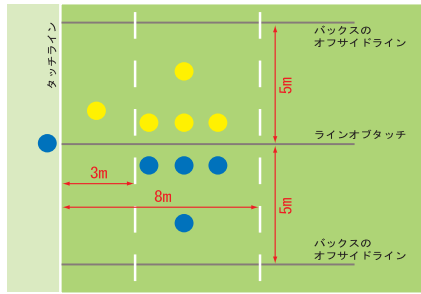
2. キック

		1・2年生 (U7-8)	3・4年生 (U9-10)	5・6年生 (U11-12)
1	キック	・プレーを開始・再開するためのタップキック以外は禁止、これに反した場合はキックが行われた地点で相手スクラム。	・ボールを手で保持した状況から以外のキック(地上にあるボールを蹴るようなキック)は禁止。	・全てOK。
2	ダイレクトタッチ		・ダイレクトタッチは10mライン内からならOK。	・ダイレクトタッチは15m(10m)ライン内からならOK。
3	フライキック		・フライキックは全て禁止。(「フライキック」とは、見境のないコントロールされないキックと定義される。普通は地上にあるボールをキックする場合に起きる。)	
4	ドリブル		・禁止(OK)	・OK
5	罰則	・キックが行われた地点で相手にスクラムが与えられる。		

3. スクラム

		1・2年生 (U7－8)	3・4年生 (U9－10)	5・6年生 (U11－12)
1	人 数	・フロントロー1人で組む。	・フロントロー3人で組む。	
2	組 み 方	・足はフラット(前後しない)にして相対するプロップの腕に軽く触れ、その後おだやかに組み合う。 (自分の体を支えるようにして組む・・・足を前後してもよし) ・頭と肩が腰より低くならないようにまっすぐ組み、スクラムが終了するまでバインドしていなければならない。		
		・プレーヤーの習熟度に応じて、頭を組み入れないハンドスクラムを行うことができる。 ・左腕は相手の右腕の内側、右腕は相手の左腕の外側になるようにして相手のジャージの背中または脇をつかむ。	・フッカーは両プロップの腕の上からバインドする。(オーバーオーバーでバインド) ・プロップは、内側の腕でフッカーをバインドする。 ・組み合った後、プロップは相対する相手としっかりバインドをする。	
3	ボールイン	・ボール投入は行わない。 ・フロントローの右足元(つま先の前)にボールを置く(かかとの後ろに置く)。	・ボール投入は行わない。 ・フッカーの右足元(つま先の前)にボールを置く(かかとの後ろに置く)。	・「ノンコンテストスクラム」であるが相手側にボールを誤って蹴ってしまった場合は続行する。 ・投入はハーフバックが行いスクラムから出てくるボールを扱う最初のプレーヤーでなければならない。 ・ハーフバックが故意でなく最初にボールをプレーすることができなかった場合、スクラムを形成しているプレーヤー以外のどのプレーヤーもプレー可能。
4	解 消 (再 開)	・ボールを右足の裏で後方に押し出すことでプレー再開とする。	・ボールを右足の裏で後方に押し出すことでプレー再開とする。	・ハーフバックがボールを触った時点、あるいは故意ではなくボールをプレーすることが出来ずにスクラムからボールが出た時点。
		・HBがパスアウトしたら。 (HBは必ずパスをする)	・HBがパスアウトしたら。 (HBは必ずパスをする)	
5	オフサイドライン	・防御側HBのオフサイドラインはスクラムの味方プレーヤーの後方の足を通りゴールラインに平行した線。 (スクラムから1m以上離れるプレーヤーはHBではなくバックスとみなされる。) HBはFW(プロップ)の尻に手を置くことによって1m以内とみなす。		
		・防御側バックスのオフサイドラインはスクラムの味方プレーヤーの後方の足から3m下がったゴールラインに平行した線。		

4. ラインアウト

		1・2年生 (U7-8)	3・4年生 (U9-10)	5・6年生 (U11-12)
1	ラインアウトの形成と補足	・ラインアウトは行わない。 ・タッチになった地点より味方にパスをする。 ・相手側はボールがタッチになった地点より3m下がりが邪魔をしない。 ・ゴールラインより5m以内の場合はゴールラインから5mの地点。	・タッチになった地点より3mから8mの間で並びプレイヤーは2人である。 ・双方のプレイヤーの2つのラインの間には明確な間隔を空ける。 ・ゴールラインより5m以内の場合はゴールラインより5mの地点。 ・ボールの競り合いはなく、必ず投入側がジャンプしてボールを取る。(削除) ・ジャンパーに対するサポートプレーは禁止	・タッチになった地点より3mから8mの間で並びプレイヤーは3人である。 ・双方のプレイヤーの2つのラインの間には明確な間隔を空ける。 ・ゴールラインより5m以内の場合はゴールラインより5mの地点。 ・ジャンパーに対するサポートプレーは禁止
2	ボールを取ったプレイヤーの制限		・ボール取ったプレイヤーは必ずHBにボールを出さなくてはならない。	・HBにパス。又はラインアウトを割って出ても良い。
			・HBにパス。又はラインアウトを割って出ても良い。	
3	オフサイドライン	・ボールがタッチになった地点より3m。 	・ラインアウトに参加していないプレイヤーのオフサイドラインはラインオブタッチから5m。 	

5. ゴールキック

		1・2年生 (U7－8)	3・4年生 (U9－10)	5・6年生 (U11－12)
1	ゴールキック	・行わない。	・ゴール正面から行う。	・トライをした地点を通りタッチラインに平行した線上から行う。
				・キッカーの好きな地点から行える。

6. ファールプレー及びペナルティ

		1・2年生 (U7－8)	3・4年生 (U9－10)	5・6年生 (U11－12)
1	ファールプレー	・防御の際に、相手を振り回すプレー、相手をチャージしたり、突き倒したり、またはタッチに突き出すプレー、フェンドオフ(腕を横に振り、相手を払い除けるプレー)はいずれも危険な行為である。		
2	ペナルティー	・タップキックにより再開し、相手は反則のあった地点からゴールラインに平行して少なくとも5m下がる。 ・反則の地点が相手側ゴールラインから5m以内の場合は、マークは反則の地点を通る線上、ゴールラインから5mの地点となる。 ・反則の地点が自陣ゴールラインから5m以内の場合も、マークは反則の地点を通る線上、ゴールラインから5mの地点となる。 このときのタップキックは相手がマークより5m下がってから行うこととする(早いリスタートはしない)。		
3	フリーキック	・ペナルティキックと同じ。		

補足

		1・2年生 (U7－8)	3・4年生 (U9－10)	5・6年生 (U11－12)
1	インサイドコーチ	・各チーム1名のコーチがグラウンドに入れる。 ・ゲーム中そのコーチは、自軍の最後尾のプレーヤーより後方に位置する。 ・そのコーチの発言は建設的なものでなくてはならず、ヒステリックに怒鳴ってはならない。	・3年生のみ1・2年生と同様に各チーム1名のコーチがグラウンドに入ることが許される。	
2	タップキック	・ボールを地面に置き、いずれかの方向にボールを明確に蹴り進めることであり、手の中のボールをチョンと蹴ることではない。		
3	キャバल्लीー・チャージ	・防御側のスクラムオフサイドラインがスクラムより3メートル下がっていることをいいことに、スクラムからボールが出る前に攻撃側のプレーヤーが後方より勢いをつけて走り込み、ハーフバックからフラットなパスを受けて突進を試みるプレーで競技規則に反するプレーである。		